➢ 基 調 講 演

【ライフホール　15：50～16：35】

歯科臨床における歯科技工士の役割
咬合・機能の長期的安定

本多　正明

日常臨床における歯科治療の目的は，生理的機能の回復であり，最も重要なことは，術後の良好な状態をどれだけ長く維持できるかである．そして，良好な機能を回復するにあたっての主役を担うのが，補綴治療であることは各分野の先生達も認めるところであろう．補綴治療に際し，補綴装置を製作する歯科技工士が担っている役割は非常に大きく，歯科技工士の技術の貢献なしには補綴治療は終了しない. 歯科治療の流れのなかで, 補綴治療に至るまでの治療, すなわち初期治療や確定的外科は, 機能回復のための補綴治療の前準備のステップと捉えることができる.

今日ではデジタルデンティストリー，特に補綴分野での目覚ましい進歩と共に臨床的に素晴らしい治療結果が，誌上や講演会等で数多く報告されている.

今回は欠損補綴を，固定式のブリッジ，可撤式のパーシャルデンチャーとインプラント補綴に分けて，臨床的に整理する.

欠損歯列に対し補綴治療を施す目的は，機能の回復と審美性の改善であるが，歯科治療において最も重要な目的は術後の長期的安定である.

【略歴】
1970 年　大阪歯科大学卒業
1978 年　東大阪市にて本多歯科医院開設
1972 年～2003 年　Dr.Raymond Kim（南カリフォルニア大学）に師事
2008 年　朝日大学歯学部クラウンブリッジ補綴学　非常勤講師
2021 年　大阪歯科大学大学院口腔インプラント学講座卒業
大阪歯科大学歯学部口腔インプラント学講座 臨床教授

【所属学会】
日本臨床歯科学会　副理事長
日本補綴歯科学会　会員
日本顎咬合学会　終身指導医
日本顎口腔機能学会　会員
口腔インプラント学会　会員
日本口腔リハビリテーション学会　会員

日本臨床歯周病学会　会員
日本審美歯科学会　会員